



総会報告と活動計画

次の新たな飛躍へ

文庫運営委員長 広原盛明

1998年9月26日に開催された西山文庫第三回総会の概要について報告します。総会は約40名の会員の参加の下に活発な討議が展開され無事終了しました。総会後には木原勝彬氏（NPO政策研究所所長）の「すまい・まちづくりNPOの可能性」と題する記念講演会も開催され、一般の方々も多数参加されて盛会でした。また、恒例の懇親会も和やかな雰囲気の中で引き続き開催されました。全国からご出席された会員の皆さまに心からお礼を申し上げます。

第三回総会の特徴を一口でいうなら、それは文庫活動が間違いなく第2期の段階に入ったということです。第1期は膨大な資料整理をとにかくやり切るという使命感の下に運営委員会を中心に数多くの会員が整理作業に参加され、データベースの整備も進んでようやく資料の全貌が明らかになるところまできました。これもひとえに会員みなさまのご協力のおかげです。今後は、一部の貴重資料（日記など）を除いて全資料をオープンしたく、その日も間近いと思います。

西山文庫のセカンドステージへの活動計画の主なものは、第1は次の3研究プロジェクトの推進です。

- ① 住宅営団資料を中心とする戦前から戦後にかけての住宅政策、住宅運動に関する資料を復刻資料として出版する。
- ② 21世紀を展望した家族、ライフスタイル、住宅の未来予測に関する研究を行う。
- ③ 文庫の将来を研究ミュージアムとして発展させるため、全国の類似施設の調査を行うというものです。

全30巻住宅営団等資料復刻出版計画

各々準備作業が進んでいますが、とりわけ第1プロジェクトは出版社との契約を年内に締結し、関東・関西の合同メンバー8人で復刻委員会を発足させるところまでできています。復刻資料の概要は、西山文庫所蔵の資料

はもとより国内の関係機関や主要図書館を全て検索し、これに個人所蔵の資料を加えたものの中から重要資料を選択し解題をつけ、3年間で全30巻程度のまとまった歴史的資料を復刻するというものです。

NPO化の申請準備

第2は、文庫のNPO化を控えて会費会員制への移行とNPO申請作業の準備です。NPOに関する条例が今年の暮れに各自治体から出される予定なので、それに合わせて京都府の担当者と協議を始めるなど着々と申請作業の準備を進めています。

文庫会員の皆さまには総会で決定しましたように、会費会員への移行をお願いします。次回で詳しいご案内を差し上げる予定です。

本格的な資料蒐集活動

第3は、新たな資料蒐集作業の開始です。西山資料の整理が一段落に近づいたので、これから本格的な資料蒐集活動を開始する予定です。文庫会員の皆さまをはじめ、全国のすまい・まちづくりの研究者、専門家の方々に声をかけて協力をお願いをしようと考えております。九大名誉教授の青木正夫先生からも「考えてみよう」とのお言葉をいただいております。このように、西山文庫はようやく活動らしい活動が出来るまでの段階にきました。

毎週木金土の3日間は、事務局員の安藤イツ子さんが常駐してくれることになりましたし、広原も三村前委員長からバトンタッチして運営委員長として専従体制に入ることにな

多数のご参加を！

第2回 積水ハウス総合住宅研究所と
すまい・まちづくり文庫交流研究会
日時：12月11日（金） 15：30～
場所：総合住宅研究所 3階B会議室
研究会終了後は懇親会 会費1500円
テーマ：＜家族の暮らしと住まい…その1＞